

第5回在宅療養支援機能 スキルアップ懇談会を開催しました

令和8年4月17日（金）上越医師会館にて、第5回在宅療養支援機能スキルアップ懇談会を開催しました。

当日は、医師会会員11名、管理栄養士7名、地域包括支援センター6名、訪問看護ステーション6名、居宅介護支援事業所5名、行政職員（上越市・妙高市）5名、看護師（病院・診療所）4名、事務局2名、推進センター1名の50名でした。

○懇談会の内容

今回のテーマは、「退院支援・外来受診時・在宅訪問の各場面における栄養管理の取組を共有し、多職種連携による支援のあり方について理解を深める」でした。

- ・退院支援、外来受診時、在宅訪問それぞれの場面における栄養管理について、管理栄養士3名からの発表
- ・医師と管理栄養士による対談
- ・グループワークによる意見交換
- ・全体での共有・まとめ

グループワークでは、多職種がそれぞれの立場から意見を出し合い、現場での課題や工夫について活発な意見交換が行われました。



○アンケート結果について（回収数 47）

懇談会の理解度・満足度はともに高く、多くの参加者から「理解できた」「参考になった」との回答が得られました。

- また、
- ・他職種の考えを知ることができた
 - ・意見交換ができた
 - ・業務を振り返るきっかけになった
- といった声が多く、多職種連携の重要性を再認識する機会となりました。

○主な意見（抜粋）

- ・栄養士と直接意見交換ができ、有意義だった（医師）
- ・具体的な話を聞くことができ、参考になった（医師）
- ・在宅で活用できるアイデアを学ぶことができた（訪問看護師）
- ・食形態に関する認識について理解を深める必要性を感じた（看護師）



対談



グループワーク

○見えてきた課題

- 一方で、
- ・相談のタイミングが分からない
 - ・相談方法や連携の進め方が分からない
 - ・依頼・相談の機会が少ない
- といった声もあり、実際の連携における課題が明らかとなりました。

また、対象者本人や家族の意向により支援につながりにくいケースがあるなど、支援の難しさも共有されました。

○今後に向けて

今後は、今回の結果を踏まえ、参加者のニーズを踏まえた懇談会の企画に活かしていきます。

また、連携に関する課題も踏まえながら、内容の充実を図っていきます。引き続き、在宅医療を支えるための取り組みを推進してまいります。